

放射能分析値の信頼性確保を支援

－放射性セシウム分析を対象とした技能試験の提供－

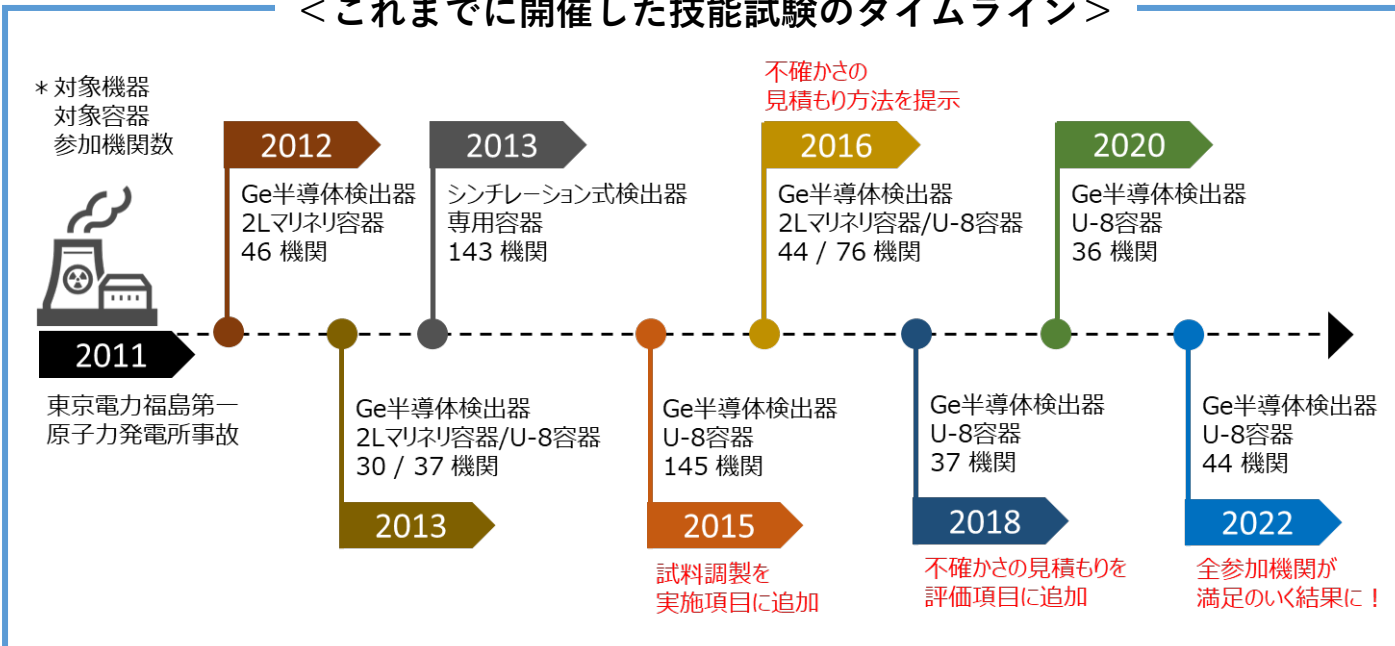
成果の特徴

- ・ 2012年度以降、外部精度管理手法の一つである放射能分析の技能試験等を開催し、国内の放射性セシウム測定機関の分析技能向上・技能維持に貢献しています。
- ・ 農産物・食品の放射能分析にも対応するため、玄米を試験試料に用いています。

成果の内容

- ・ 2012～2022年において、のべ638の測定機関が参加。
- ・ 農産物・食品の放射能分析における、試料調製の留意点や分析値の不確かさの見積もり技能の定着。

< これまでに開催した技能試験のタイムライン >



想定される用途・連携希望先

ご自身の測定結果の妥当性確認を通じて、分析値の信頼性が確保できます。2023年度以降は農林水産省農林水産技術会議事務局と連携して支援を継続していきます。

第237回農林交流センターワークショップ
食品を対象とした放射能分析（初級者向け）
2023年11月30日（木）～12月1日（金）
募集期間：2023年7月19日～8月25日

（R6年度も同時期に参加者を募集し、ワークショップを開催予定）



ワークショップの
サイトはこちらの
QRコードから

参考 Miura et al., Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry, 326, pp 1225-1231 (2020)

※本成果は、産業技術総合研究所とセイコー・イージーアンドジー(株)との共同研究の成果です。

代表研究者：八戸 真弓
所 属：食品研究部門
食品流通・安全研究領域



農研機構